

補助金・交付金 チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	五稜星の夢開催補助金	開始 年 度	平成12年度
団 体 名	五稜星の夢実行委員会	団体等 の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 課税事業者 <input type="checkbox"/> 免税事業者
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市補助金等交付規則・五稜星の夢開催補助金交付要綱		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	特別史跡五稜郭跡の堀（周囲1.8Km）を約2千個の電球で電飾することで、五稜郭を地上に降りた巨大な星として浮かび上がらせるイベント。
目 的	(目 的) 冬季の観光振興のため
・ 効果	(効 果) 本市を代表する観光スポットである、特別史跡五稜郭跡で実施する函館ならではのイルミネーションイベントであり、冬季の観光客誘致に貢献している。

○補助事業の収支状況 ※上段:補助事業等に要する経費 [下段]:補助対象経費 (単位:千円)

	年 度	助 成 金		協賛金	広告収入	雑収入	繰越金	計
		市	その他					
収	R3 (決算)	1,200 [1,200]		2,787 [2,637]	2,090 [2,090]	1 [1]	51 51	6,129 [5,979]
	R4 (決算)	1,200 [1,200]		3,069 [2,949]	2,070 [2,070]	1 [1]	42 [42]	6,382 [6,262]
	R5 (決算)	1,200 [1,200]		3,310 [3,121]	1,960 [1,960]	3 [3]	43 [43]	6,516 [6,327]
入	R6 (決算)	1,200 [1,200]		3,684 [3,481]	1,890 [1,890]		47 [47]	6,821 [6,618]
	R7 (予算)	1,200 [1,200]		3,300 [3,300]	2,150 [2,150]		84 [84]	6,734 [6,734]
	年 度	工事費	電気料	宣伝費	事務費	予備費		計
支	R3 (決算)	4,997 [4,997]	315 [315]		774 [667]			6,086 [5,979]
	R4 (決算)	5,228 [5,212]	196 [196]		915 [854]			6,339 [6,262]
	R5 (決算)	5,328 [5,303]	200 [200]		904 [825]			6,432 [6,328]
出	R6 (決算)	5,531 [5,523]	225 [225]		1,020 [871]			6,776 [6,619]
	R7 (予算)	5,500 [5,500]	250 [250]		980 [980]	4 [4]		6,734 [6,734]

補助金・交付金 チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	五稜星の夢開催補助金
----------------	------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説 明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	平成元年から(助成は平成12年度から)開催されており、市民参加による五稜郭エリアの活性化につながるイベントとして、市民の知名度も高く、内容の充実に対する市民や観光客からの期待度も高いイベントとなっている。
2	必要性(補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	特別史跡である五稜郭跡の堀を電飾するという函館ならではの特色あるイベントを実施することで、本市の冬季の観光振興に大きく貢献する必要不可欠なイベントである。
3	自主性(自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	イベント内容の見直し等を行っている。
4	有効性(他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	冬のイベントの充実による誘客促進の必要性が求められている中で、市民団体が主体となって観光客の誘致や地域活性化の機運を高めていくためにも、補助金による助成が最適である。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準は定めていないが、当該事業の大きな効果を鑑み、事業の継続を支援するために、支出しているものである。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

# 補助金・交付金チェックシート(No.3)

補助金名 (交付金名)	五稜星の夢開催補助金
----------------	------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

具体的な数値などを示すことは難しいが, 近年増加傾向にある冬季の観光入込について一定の効果があるものと考えている。

(達成状況)

過去5年度における冬季(12月~2月)の観光入込客数

- ・令和元年度: 892.3千人 ※2月以降, コロナ禍の影響により減少傾向に転じた
- ・令和2年度: 327.4千人
- ・令和3年度: 554.9千人
- ・令和4年度: 797.0千人
- ・令和5年度: 937.2千人



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	補助団体を構成する市民ボランティアの努力により, 本市の冬のイベントとして旅行代理店のパンフレット等に掲載されるまでに成長しており, 今後も更に知名度を高めることで多くの誘客が期待できる。

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	(見直しの内容) 自主財源である協賛金や広告収入などの安定確保に努めている。今後も, 自主財源の確保に向けたより一層の自助努力を促すなどし, 必要に応じて補助金額を検討する。 (見直しの時期)
(廃止の理由) (廃止の時期)	(その他の内容)

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
令和 9 年度		令和 9 年度